

神戸校区 地区防災計画

令和 4 年 4月

神戸校区自主防災会

目 次

1 計画の目的・基本的な考え方

2 計画の位置付け

(1) 計画対象地区 (2) 計画策定主体

3 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性 (2) 予想される災害

4 自主防災会の活動(平常時・災害時)

(1) 平常時の取組 (2) 災害時の取組

(3) 要支援者（避難行動要支援者）等への支援

5 防災体制

(1) 防災体制 (2) 活動体制

(3) 避難防災関連施設 (4) 防災備品等

6 災害への備え

(1) 防災知識の習得 (2) 防災訓練の実施

(3) 防災備品等の点検 (4) 計画の見直し

7 防災マップ

8 資料一覧

1-1 計画の目的

この計画は、神戸校区に係わる災害対策について定め、これを推進することにより神戸校区住民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的とする。

また、災害対策においては、神戸校区住民と市、防災関係機関、神戸校区内各自治会と相互に連携し、それぞれが役割を分担し、協力して防災活動に積極的に取り組む必要性から、この計画に基づき災害等による被害の防止及び軽減を図るために備えをより一層充実するべく、地区防災計画を作成する。

1-2 基本的な考え方

南海トラフ地震の発生確率は今後30年以内で70～80%、最悪の場合、地震や津波による県内の死者は約1万6000人、西条市では約3500人に上ると想定されている。広い地域で地震・津波による家屋の倒壊や、ライフラインの停止等により多くの人が避難生活を余儀なくされるかもしれません。

阪神・淡路大震災では、家屋倒壊などに巻き込まれながら助かった人の約98%が自力や地域の人たちの力で助かっています。災害時の公的機関による「公助」には限界があり、まず自分と家族を守る「自助」、その後に地域ぐるみで救助活動や避難所運営を行う「共助」が大切。少子高齢化が進むいま、「共助」の役割が特に必要とされている。

「共助」の担い手となるのが小学校区を単位に組織されている自主防災組織であり、神戸校区内各自治会やボランティア、企業などとも連携とともに支え助け合うことが重要である。神戸地域においては、「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い信念のもと、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めていく。

自主防災組織の役割		
平常時	防災組織の普及・啓発	災害に備えるための活動を行う
	地域内の安全点検	
	防災機材の点検、食料等の備蓄	
	防災訓練の実施	
災害時	情報収集・伝達	人命を守り、被害の拡大を防ぐための行動を行う
	初期消火	
	救出・救助、救護活動	
	避難誘導	
	避難所の開設・運営	

2 計画の位置付け

(1) 計画対象地区

この計画の対象地区は「神戸校区」とする。

(2) 計画策定主体

神戸校区自主防災会

3 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

(ア) 地区の概況

- ・神戸校区内の人口及び世帯数は、令和4年4月1日現在で約1,500世帯、約3,500人です。
- ・神戸校区では、人口は近年減少状況にあり、令和4年4月1日現在では65歳以上の高齢者人口が占める割合は約36%と高齢化が進んでいます。

(イ) 地区の気象・地形・土地利用

- ・神戸校区の気象状況は、瀬戸内海地方の温暖な気候に恵まれており、北側に広がる広大な農地では、裸麦、米、玉ねぎやキャベツ等の野菜が数多く栽培されている。また、概ね予讃線から南側は、予讃線から山際まで住宅地域が密接して広がっている。
- ・神戸校区の南側は山岳地帯からなり、そこに中央構造線が走り、やや南寄りの住宅地域には岡村断層も横切っており、2本の断層に囲まれた地域もある。(13ページ参照)

(2) 予想される災害

(ア) 地震による被害

- ・家屋倒壊や火災
- ・山間部斜面の土砂・がけ崩れによる家屋倒壊、道路通行止
- ・塀の倒壊による道路通行止

(イ) 大雨や台風による被害

- ・加茂川の氾濫や堤防の決壊
- ・神戸中心地の低地地域での家屋への浸水
- ・神戸中心地の低地地域での道路冠水による通行止

(ウ) 土砂災害による被害

- ・山間部斜面の土砂・がけ崩れによる家屋倒壊、道路通行止
- ・山間部斜面の土砂・がけ崩れによる家屋の孤立化

4 自主防災会の活動

地区居住者等が、災害時において実際に地区防災計画に規定した行動が行えるよう、防災知識の普及啓発や毎年、様々な状況を想定した訓練を行うことが重要です。

(1) 平常時の取組

(ア) 防災知識の普及・啓発

「共助」による防災活動を促進するためには、地域に住む一人ひとりの防災意識を高め、地域コミュニティ全体で防災に取り組むことが地域防災力の向上につながります。

普及啓発活動は、地域の誰もが楽しんで防災に向き合い、学ぶことができるなどを考慮した次のような取り組みを行います。

- ・クロスロードゲーム
- ・DIG（災害図上訓練）
- ・HUG（避難所運営ゲーム）
- ・防災運動会（担架リレー、バケツリレー、土のう積みリレー、防災クイズ等）

(イ) 地域・家庭の安全意識の向上

- ・危険場所・防災上問題箇所の洗い出しを行う。
- ・家庭における家具転倒防止の器具の取り付け等家庭内存在危険箇所の排除と対策の導入を行う。
- ・避難時の電気器具（電源切断、ブレーカー等通電灾害対策）、ガス器具の対応の習熟を行う。
- ・要避難者、要介護者の把握と支援、常日頃からの対象者、近隣住民との意思疎通、コミュニケーションの確立を図る。
- ・民生児童委員とも連携して、自宅生活不可能者の避難者名簿への登録支援を行う。

(ウ) 防災用品の整備

- ・防災資機材の必要性の認識と意識の高揚を図る。
- ・各自治会での防災資機材の整備・強化と点検・使用方法の習熟を行う。
- ・各家庭における非常用備蓄品の必要性の向上と具体化の推進を行う。
- ・「無事ですカード」の活用定着化を図る。
- ・災害情報を取得するための資機材（ラジオ等）の整備を行う。

(エ) 防災訓練

- ・防災訓練は緊急時における「的確に対応するための必須の活動」である事の認識をもつ。
- ・地区住民の積極的な参加に向けたアプローチを行う。
- ・計画的な訓練の推進（連合自治会・単位自治会）を行う。
- ・火災時の伝達（周辺住民、消防本部）方法と初期消火習熟への訓練を行う。
- ・必要資機材の維持管理と緊急時に対応できるための定期的な訓練を実施する。
- ・土砂災害の前兆現象（異変）への感受性の向上のための訓練を行う。
- ・避難所運営体制を確立しておく。

(2) 災害時の取組

【地震発生時】

(ア) 災害発生当初の行動

- ・地震による死傷例の大半は家屋の倒壊やガラスの破片、落下物が原因であるため地震が発生したらまずとるべき行動は「まず低く」「頭を守り」「動かない」という3つのシェイクアウト行動をとる。
- ・避難時の電気器具（電源切断、ブレーカー等通電灾害対策）、ガス器具の的確な対応をする。
- ・家族等の安否確認、屋内の安全確保を行う。
- ・ラジオ等の資機材による災害情報の取得を行う。

(イ) 安否報告・確認

- ・「無事ですカード」を活用する。
- ・安否不明者確認活動を行う

(ウ) 出火防止・初期消火

- ・火災時の伝達（周辺住民、消防本部）と初期消火を実施する。
- ・消化困難時の初期消火中止の判断と安全確保及び避難をする。

(エ) 救出・救護活動

- ・救出・救護の任務分担者を中心とした自治会・警察・消防との連携による活動を行う。
- ・緊急時においては救出・救護に必要な資機材での的確に対応する。
- ・心臓がその機能を失った緊急事態においては一般住民でも使用できるAEDにより電気ショックを与え蘇生させる。

AED設置場所：神戸小学校、神戸公民館、にいぼり歯科、神戸幼稚園、
神戸保育園、JAえひめ未来あぐりセンター、釜之口警察官連絡所、伊曾乃神社

(才) 避難誘導

- ・自治会指定避難場所への誘導と避難の促進を図る。
- ・避難者名簿に登録された自宅生活不可能者の災害発生時の避難所への避難誘導を行う。

【風水害・土砂災害発生時】

(ア) 発災前の行動・避難のタイミング

- ・ラジオ等による気象情報、災害情報の収集を行う。
- ・土砂災害の前兆現象（異変）を察知して早期の避難をする。

(イ) 避難

- ・水害、河川氾濫の危険予測時の早期避難を行う。（下記「警戒レベルと気象情報」参照）
- ・緊急時は落ち着いて即、指定避難場所へ避難する。
- ・常日頃から要避難者や要介護者など、近隣住民との意思疎通、コミュニケーションを確立していた対象者への支援を行う。

(ウ) 指定避難所の開設・運営

- ・行政とのタイアップを行う。
- ・避難所の的確な内部配置と設備の効果的な活用を行う。
- ・要介護者、要支援者に対して配慮する。
- ・避難所運営体制を的確に遂行する。

警戒レベルと防災気象情報（参考）

警戒 レベル	状況	取るべき 行動	自治体などの 情報	気象庁などの 情報
5	災害が発生または切迫	命の危険があり直ちに安全確保	緊急安全確保	大雨特別警報
レベル4までに必ず避難				
4	災害発生の恐れが高い	危険な場所から全員避難	避難指示 土砂災害警戒 情報	土砂災害警戒 情報
3	災害発生の恐れがある	危険な場所から高齢者らは避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報
2	気象状況の悪化	自らの避難行動を確認		大雨・洪水注意報
1	今後、気象状況悪化の恐れがある	災害への心構えを高める		早期注意情報

(3) 要支援者（避難行動要支援者）等への支援

要支援者対策担当者を中心に常日頃から要支援者とのコミュニケーションを図っておく。

【支援の取組】

(ア) 要支援者、要介護者の把握と対応

- ・一人暮らしの高齢者などの要支援者を把握し、支援者（活動主体）や支援の範囲、支援体制を検討しておく。
- ・支援者（活動主体）には、民生児童委員等各種補助団体が連携し、平常時からの声かけや災害時の避難誘導訓練について周知や参加を呼びかける。

(イ) 避難するときの誘導

- ・災害時には各自治会の自治会長とも連携し、避難所等安全な場所への誘導など事態に即した対応をする。その際、要支援者に対しては気配りと思いやりの心を持って接する。

5 防災体制

(1) 防災体制

(ア) 避難場所等

○一時避難場所

- ・各自治会集会所、神戸公園、神戸小学校（グラウンド）

○指定避難場所

- ・神戸小学校（校舎、体育館）
- ・神戸公民館（建物）

○福祉避難所（近辺の公共施設）

- ・総合福祉センター（神拝）
- ・西条西部地域交流センター（氷見）

○民間避難所等の活用（災害連携協定の締結）

- ・緊急時における一時避難場所、避難滞在場所
西条ゴルフ俱楽部、ZEN グローバルアカデミー、伊曾乃神社、
保国寺、橘新宮神社、中四国クボタ西条営業所、
- ・福祉避難所
あおのクリニック
- ・その他（避難所等での資機材等の借用など）
高橋石油ガス、工藤グリーンテック

(2) 活動体制

(ア) 神戸校区自主防災会の体制

神戸校区連合自治会を中心に各種 16 団体からなる「各種団体連絡協議会」と神戸校区住民をもって構成している「神戸校区自主防災会」を立ち上げ防災体制を確立している。「神戸校区自主防災会」の役員は、会長 1 名、副会長 3 名、班長 2 名、副班長 6 名、班員（神戸防災士会会員及び連合自治会内自主防災委員会委員）で構成されている。

（14 ページ 参照）

(イ) 防災組織の編成

○災害発生時における避難前の任務

- ・情報収集・伝達
- ・避難誘導
- ・初期消火
- ・救出・救護

○災害発生時における避難後の任務

- ・給食・給水
- ・要支援者対策
- ・避難所設置・管理運営

(ウ) 防災組織の任務分担

任務	任務分担	平常時の役割	災害時の役割
災害発生時に おける避難前 の任務	情報収集・伝達	防災組織の普及啓発	地域の情報集約・発信 市・避難所との情報伝達
	避難誘導	避難経路の点検	住民の避難誘導 避難所での避難者の整理
	初期消火	器具の整備・点検	初期消火、消防車の誘導、 安全パトロール
	救出・救護	器具の整備・点検	被災者・負傷者の救援救護
災害発生時に おける避難後 の任務	給食・給水	調理用器具・非常食 の点検	炊出し等の給食・給水活動 の協力、必要物資の把握
	要支援者対策	要支援者の把握	要支援者の救援救護
	避難所設置・ 管理運営	器具の整備・点検	避難所の設置、適切な管理 運営の協力

(3) 避難防災関連施設

各自治会が災害時に協力をお願いしている関連施設等との連携を図り、

避難場所の提供、土砂・廃材等除去のための資器材等の提供などの協力を依頼する。

(4) 防災備品等

公民館への避難を想定し、公民館に保管している防災・避難用資器材

簡易テント	15 張	間仕切り用、ワンタッチ、パーソナル、着替え用
簡易ベッド	25	簡易ベッド 段ボールベッド
簡易トイレ	12	段ボールトイレ 5 非常用トイレ 7
マンホールトイレ	2	
ロールマット	36 枚	アルミ、絨毯
ブランケット	15 枚	
毛布	69 枚	
調理器具	7	カセットコンロ
	5	鍋
	5	やかん
ヘルメット	3	
ブルーシート	2 枚	
非常食	240 食	五目ご飯 40 おにぎり 120 梅がゆ 30 ラーメン 20 味噌汁 10 保存パン 20
飲料水	50 本	500ml
自家発電装置	2 台	ガソリン用
サークルライト	1	
サークルライト用三脚	1	
フェースシールド	6	コロナ対策用
体温計	1	コロナ対策用
災害救助工具セット	1	市から支給

6 災害への備え

(1) 防災知識の習得

(ア) 家族単位でのマイタイムラインの作成

- ・大雨や台風に備えて家族で話し合い、いつ何をするかをあらかじめマイタイムラインとして整理する。(15~27ページ参照)
- ・気象情報を基に洪水リスクを把握し、慌てずに逃げる準備を整えて、逃げ切れるタイミングで逃げ始める。

(イ) マイタイムライン使用時の心得

- ・あくまで行動の目安として認識する。
- ・気象情報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- ・収集・確認した情報を基に、マイタイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

(2) 防災訓練の実施

(ア) 訓練メニュー

毎年、地震・風水害土砂災害を想定、各種訓練を実施する。

内容	風水害・土砂災害対応	地震対応
避難時の訓練	<ul style="list-style-type: none">・情報収集・伝達訓練・避難訓練・避難路・避難場所確認訓練・避難経路上の危険個所の把握・話し合い・避難行動要支援者の把握	<ul style="list-style-type: none">・避難路・避難場所確認訓練・避難経路上の危険個所の把握・話し合い・避難行動要支援者の把握
避難後の訓練	<ul style="list-style-type: none">・避難所開設運営訓練・炊出し訓練・物資配給訓練	<ul style="list-style-type: none">・避難所開設運営訓練・炊出し訓練・物資配給訓練
発災後の初動行動の訓練		<ul style="list-style-type: none">・シェイクアウト訓練・初期消火訓練・応急救護訓練・防災資機材取扱い訓練

(3) 防災備品等の点検

- ・定期的に避難所設置訓練を行い、避難所備品が適切に利用できるかどうか点検を行い、災害時に備える。
- ・非常食や水の賞味期限が切れていないか定期的に点検を行う。

(4) 計画の見直し

- ・この計画については、継続して管理を行い、状況に応じて見直しを図っていく。
訓練の機会や日頃の話し合いを通じて、計画の見直しに取り組む。
地域の取り組みや体制の変化等に合わせて、必要な見直しを行う。
- ・見直した場合は、神戸校区自主防災会に、報告・協議する。
見直した内容については、説明会やチラシ等により各自治会自治会長等に報告する。

7 防災マップ

(1) 災害危険地域の把握 (28~29 ページ 参照)

- ・家屋倒壊等氾濫想定区域
加茂川左岸に接する住宅区域は、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫が発生する恐れが高い区域と想定されている。
- ・土砂災害危険箇所
大久保地域、中寺地域の一部、津越地域、舟形地域の一部、山の下地域、東原地域の一部、原地域の一部、西原地域の一部、湯之谷地域それぞれの山際の地域は、土砂災害の恐れがある危険箇所と想定されている。
- ・土砂災害警戒区域
倉谷川に沿った舟形地域の一部、中寺地域の一部、津越地域の一部、原地域の一部、西原地域の一部及び大谷川に沿った西原地域の一部、棚林・西田地域の一部それぞれの山際の地域は、土砂災害の恐れがある警戒区域と想定されている。

8 資料一覧

- ① 神戸付近の活断層 (13 ページ)
- ② 神戸校区自主防災会体制及び役員構成 (14 ページ)
- ③ みんなでつくろう！マイ・タイムライン (15~27 ページ)
- ④ 防災マップ (災害危険地域) (28~29 ページ)

<参考資料>

神戸校区自主防災会の活動記録（令和3年度）(30~34 ページ)
(先進地視察研修、自主防災会発足式、危険区域のウォーキング、
避難所設置訓練、防災研修会)

神戸付近の活断層



三波川変成岩帯
海底にあった玄武岩などの堆積物が、地下で変成を受けたもの。緑色片岩、黒色片岩、紅簾片岩などを含む。

258万8000年～
78万1000年前に堆積

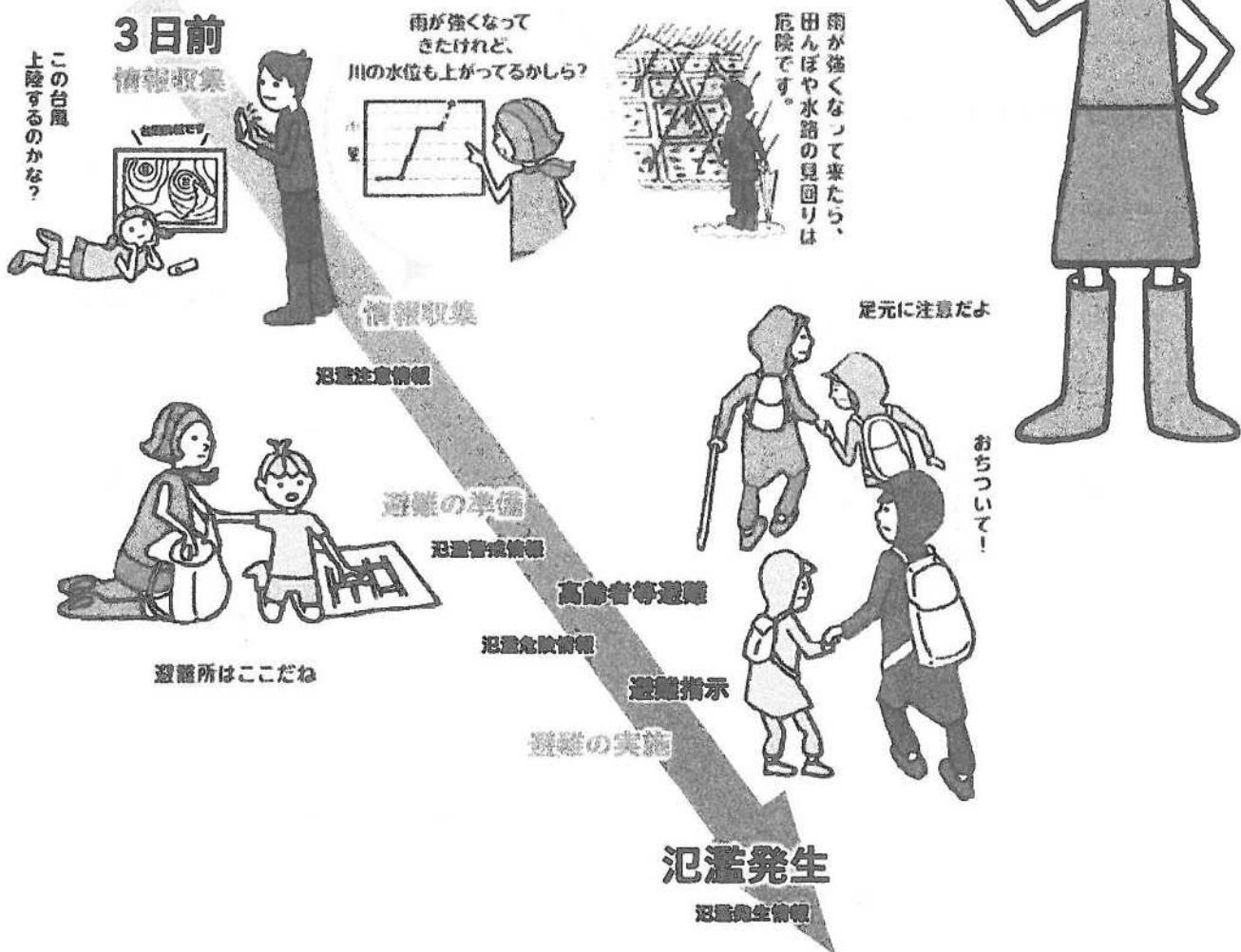
中野の河岸段丘

みんなでつくろう！ マイ・タイムライン

～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～

名前

家族で
考えてみよう！



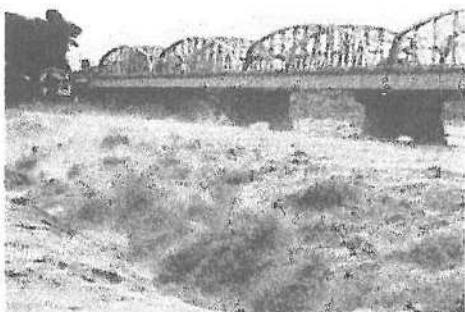
目次

項目	ページ
洪水と自分自身とをよく知れば、安全に逃げられる！	17
今後の天気を自分で確認してみよう！	18～19
避難を開始するまでに準備しておこう！	20～21
川の水位を自分で調べてみよう！	22～23
避難に役立つ情報を確認してみよう！	24～25



洪水と自分自身とをよく知れば、安全に逃げられる！

■川から水があふれる前に逃げる！！



大雨が降ると、川にたくさんの水が流れこみ、この水がさらに増えると川の水があふれ（氾濫）、街に流れ込んでいます。

街に流れ込んできた水は、いきおいが強く、家が流されたりしますので、川から水があふれる前に安全な高い場所へ移動しておくことが大事です。

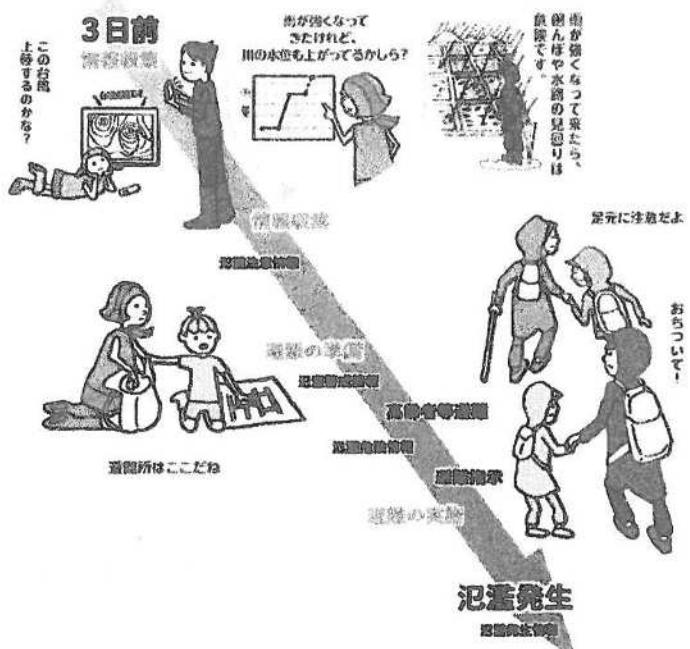
■マイ・タイムラインをつくろう！！

川から水があふれる前に安全な場所へ移動しておくためには、どのように川があふれるかを知り、それに応じた備えをしていく必要があります。

安全な場所への距離、移動するスピードは人それぞれですよね。自分自身の家族構成や生活環境を踏まえて、自分自身の洪水リスクを把握し、あわてずに逃げる準備を整えて、逃げ切れるタイミングで逃げ始めることが重要です。

いざというときにあわてずに行動するために、大雨が降る前から川の水があふれるまでの間に、いつ何をするのかをあらかじめマイ・タイムラインとして整理しましょう。

また、家族でよく話しあって、あなたの家のマイ・タイムラインをつくってみましょう。





今後の天気を自分で確認してみよう！

■避難行動を判断する時の有効な情報

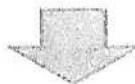
洪水時に得られる情報は、天気（台風、雨）、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生 川の水位上昇 緊急時	①天気に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
	②川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域（川の上流） ・今後の見通し
	③避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位（今後の見通し） ・氾濫の発生 ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保 ・指定避難所等の開設情報 ・交通の状況

■①天気に関する情報

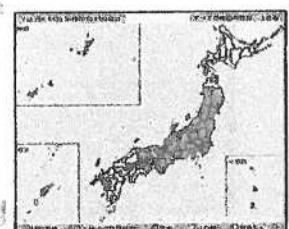
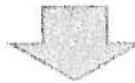
3日前

テレビの天気予報などで、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等を確認しましょう。



2日前

台風が近づくと、みなさんの住んでいる地域で大雨注意報など雨に関する情報が発令されるかもしれませんので、行政からの情報を確認しておきましょう。



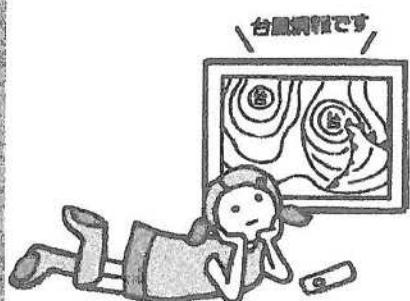
1日前

その後も雨が降り続くと、大雨警報や大雨特別警報が発令されるかもしれませんので、引き続き行政からの情報を確認しておきましょう。



今後の天気を自分で確認してみよう！

■台風に関する情報



気象庁ホームページ（台風情報）

テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等を確認できます。



■雨に関する情報



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、気象庁ホームページにアクセスするか、NHK総合テレビのデータ放送を見ると、雨に関する警報等や雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報を見ることができます。雨量観測所のリアルタイム情報は、お近くの国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイトをご確認下さい(P.10~11を参照)。

川の防災情報ホームページ
(XRAIN)

<https://www.river.go.jp/x/>

気象庁ホームページ（雨雲の動き）

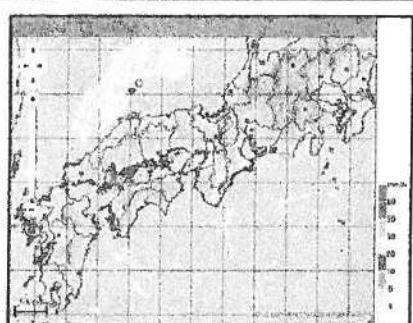
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

国土交通省河川事務所、
各都県の災害・ポータルサイト

お近くの国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイトをご確認下さい(P.10~11を参照)



川の防災情報ホームページ (XRAIN)



気象庁ホームページ (雨雲の動き)

上流部に降った雨は、やがて下流に流れますので、あなたの家の近くの川の水位も上昇する可能性があります。上流部の雨の様子も確認しましょう。



避難を開始するまでに準備しておこう！

■ハザードマップを確認しよう！！

ハザードマップは、川から水があふれたときにどの地域が危険なのかを色で示したもので、色が濃いほど危険性が高いことをあらわします。

自分の家や学校はどうでしょうか。

指定緊急避難場所やそこに行くまでの安全なルートなど、前もって確認しておきましょう！

ハザードマップ
ポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



【例】常総市洪水ハザードマップ

■避難を開始するまでに準備・考えておくべきこと

避難を開始するまでに準備できることの一例です。これらは、普段から準備したり、考えておくことができる事もあるので、家族で話しあっておきましょう。

3日前

防災グッズの確認をしておきましょう。不足があれば買い出しへ行きましょう。



半日前

携帯電話やスマートフォンを充電しておきましょう。
ハザードマップで指定緊急避難場所や避難手段を確認しておきましょう。



3時間前

いつでも避難できるように、避難できる服装に着替えましょう。





避難を開始するまでに準備しておこう！

■いざという時のための防災グッズをそろえておこう！！

家族と相談しながら、必要なものをリュック等にまとめておきましょう。

食料（お菓子やレトルト食なども）

飲料



薬（普段から薬を飲んでいる人は持っていきましょう）



お薬手帳

保険証

タオル

ピニール袋

大きめのゴミ袋（即席ポンチョで急な天候不良にも対応可能）

着替え（3日分はあるとよい）



汗拭きシート（お風呂に入れない場合に備えて）



懐中電灯

携帯電話+充電器

貴重品

■避難するときには長靴はダメ！！

長靴に水が入ると、重たくなります。

水に強いと思われがちな長靴ですが、逆に避難するときに足手まといになってしまふ場合がありますので、避難するときに長靴をはくのはやめましょう！



■氾濫水は濁っている！！

氾濫水は茶色く濁っていて、

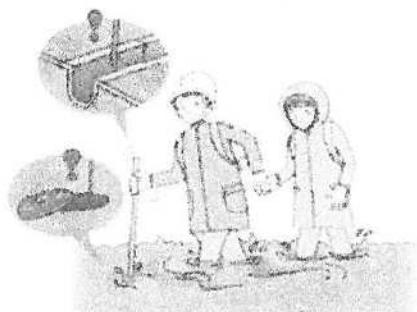
水路と道路の境やフタが開いている

マンホールの穴は見えないので危険です。

氾濫の前に避難することが基本ですが、

やむを得ず水の中を移動するときには、

棒で足下を確認しながら移動しましょう。





川の水位を自分で調べてみよう！

■避難行動を判断する時の有効な情報

洪水時に得られる情報は、天気（台風、雨）、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。また、川の防災情報で、近くの水位観測所を調べましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生 川の水位上昇 緊急時	①天気に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
	②川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域（川の上流） ・今後の見通し
	③避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位（今後の見通し） ・氾濫の発生 ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保 ・指定避難所等の開設情報 ・交通の状況

■②川に関する情報

上流域で大雨特別警報が発令されるなど、川の上流で降った雨が下流域まで流れてきて、川の水位が段々高くなると、**氾濫注意水位**に到達します。氾濫注意水位に到達すると、河川事務所から洪水予報（氾濫注意情報）が発表されますので、確認しておきましょう。



氾濫注意水位を超えて、川の水位が上がり続けると、**避難判断水位**に到達します。避難判断水位に到達すると、河川事務所から、洪水予報（氾濫警戒情報）が発表されますので、確認しておきましょう。



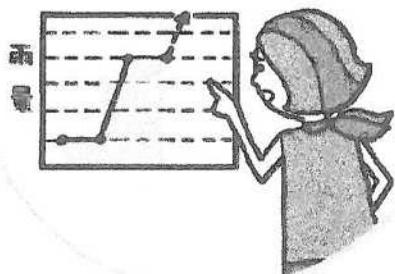
その後も川の水位が高くなり続けると、**氾濫危険水位**に到達します。氾濫危険水位に到達すると、河川事務所から、洪水予報（氾濫危険情報）が発表されますので、確認しておきましょう。なお、この水位はいつも氾濫してもおかしくない状態を示しています。



川の水位を自分で調べてみよう！

■川に関する情報

雨が強くなつて
きたけれど、
川の水位も上がつてゐるかしら？



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイトにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。NHK総合テレビのデータ放送でも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、お近くの国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイトにアクセスすると、お近くの川のライブ映像を見るることができます。

川の防災情報ホームページ	https://www.river.go.jp/portal/
国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイト	お近くの国土交通省河川事務所、各都県の災害・ポータルサイトをご確認下さい (P.10~11を参照)

川の防災情報
QRコード

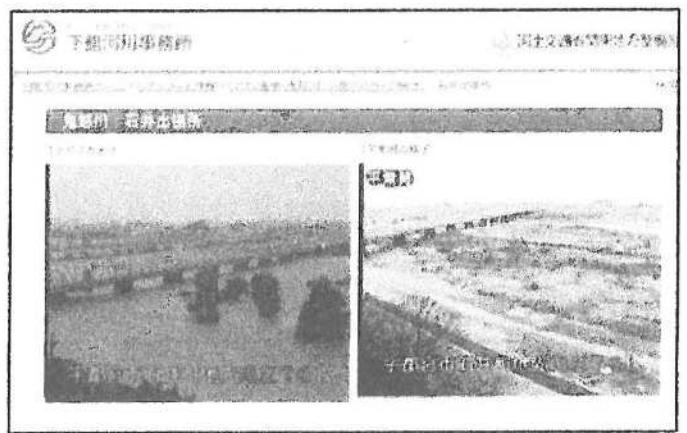


川の防災情報ホームページ
「川の水位情報」を選択

地図上で
任意の水位観測所を選択

任意の水位観測所の
河川横断図を選択

【例】下館河川事務所ホームページ
(ライブカメラ)





避難に役立つ情報を確認してみよう！

■避難行動を判断する時の有効な情報

洪水時に得られる情報は、天気（台風、雨）、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生 川の水位上昇 緊急時	①天気に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
		<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域（川の上流） ・今後の見通し
	②川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位（今後の見通し） ・氾濫の発生
	③避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保 ・指定避難所等の開設情報 ・交通の状況

■③避難に関する情報

半日前

天気に関する情報や川に関する情報などを総合的に判断して災害のおそれがある場合は、高齢者や障害のある方等の避難に時間を要する人やその支援者など、早めに避難行動を開始していただきたい人に対して、自治体は高齢者等避難（警戒レベル3）の情報を発令しますので、危険な場所から高齢者等は避難しましょう。

※ 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。



さらに、天気に関する情報や川に関する情報などから災害のおそれが高い場合は、自治体は避難指示（警戒レベル4）を発令しますので、危険な場所から全員避難しましょう。

3時間前



避難に役立つ情報を確認してみよう！

■ 避難に役立つ情報を確認しよう！！

「災害のおそれがある」場合には、自治体から高齢者等避難（警戒レベル3）等が発令されます。

「災害のおそれが高い」場合には、自治体から避難指示（警戒レベル4）等が発令されます。

テレビやラジオ、携帯メールやインターネット、防災行政無線などで正しい情報を確認し、避難してください。



警戒レベル4：避難指示

- ・ 災害のおそれが高い。
- ・ 危険な場所から全員避難する。

警戒レベル3：高齢者等避難

- ・ 災害のおそれがある。
- ・ 危険な場所から高齢者等は避難する。

※ 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合せ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。

また、大規模な災害が発生した際、渋滞の発生や通行止め、そのための迂回路の設置など、普段とは違う交通状況になることがありますので、自治体や都道府県、日本道路交通情報センターホームページにアクセスして、現在の交通状況を確認してください。

日本道路交通情報センター
ホームページ

<http://www.jartic.or.jp/>

QRコード



日本道路交通情報センターホームページ

マイ・タイムライン(個別避難計画)

作成日： 年 月 日

組織			
本人(氏名)	家族	互近カード・近所	神戸桜区自主防災会
住所：	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	責任者 携帯
携帯 (- -)	(- -) 携帯	(- -) 携帯	(- -) 携帯
いつもいる場所 (星夜)	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	関係 携帯
避難リュックの置き場（ □一人暮らし □高齢世帯 □小学生以下 □障害 □その他（ □自宅の危険性 □漫水 □土砂 □地震	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	関係 携帯
5 □大雨の情報を知る □□業を余分にもらつておく 3 □持ち出し袋の中身確認 □□買出し(7日分ストック) □避難先の確認・連絡	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	関係 携帯
2 □いつ避難するか相談 (□相談する人)	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	関係 携帯
1 □□家族・近所と避難状況確認 □連絡先を決める 1 □□前	関係 氏名 携帯	関係 氏名 携帯	関係 携帯
レベル3 (高齢者、危険区域居住者避難・その他(は避難準備))	□□避難希望を介助者に伝える □貴重品の準備	□□避難の声掛け □貴重品の準備	□□大雨情報本报讯 業の準備の声掛け □持ち出し袋準備声掛け □買出し(7日分ストック) □避難先の確認・連絡
4 □□時間前	□□車の準備 □□避難開始	□□車の準備 □□避難開始	□□大雨情報本报讯 業の準備の声掛け □持ち出し袋準備声掛け □買出し(7日分ストック) □避難先の確認・連絡
レベル4 避難指示(高齢者、危険区域居住者避難完了、その他は垂直避難) ※大雨の中の避難場所への移動はかえつて危険	□□避難終了	□□災害用伝言ダイヤル171	□□災害用伝言ダイヤル171
2 □□時間前	□□垂直避難	□□垂直避難	□□災害対策本部立ち上げ □□各班打合せ内容確認 □□町内避難準備の声掛け
レベル5 汛溢発生・緊急安全確保(災害が発生、がけから離れた2階などに避難するなど最大限の安全確保)			□□消防団消防ボンボン箱常駐 □□各班打合せ内確認 □□町内避難準備の声掛け
2 □□時間後			□□消防団出動
災害情報解除、水が引いてから			
1~2 □□時間後	□□無事ですカード掲示 □□自宅安全確認	□□無事ですカード掲示 □□家族安全確認 □□自宅避難困難者は避難	□□無事ですカード掲示 □□近隣安全確認 □□要援護者被災状況把握 □□自宅避難困難者は避難
~6 □□時間後	□□自宅片づけ	□□自宅片づけ	□□近隣片づけ □□救助活動 □□避難場所と連携、情報収集
~12 □□時間後	□□自宅片づけ	□□近隣片づけ	□□給食・給水・物資分配

本人の状態・持病など

本人の状態		持病・連絡先など	
移動: 歩ける(杖: 有 無 無) 歩行器: 有 無	主病名: 挂かりつけ病院: (連絡先:)	会話: できる できない	主治医: (連絡先:)
食事: 摂取できる (普通食 やわらかい ドロドロ)(アレルギー: 有 アレルゲン)	会社・学校・介護事業所: (連絡先:)	視力: 見える 見えにくい 見えない (メガネ: 有 無 コンタクト: 有 無)	家族: 関係: (連絡先:)
聴力: 聞こえる 聞こえにくい 聞こえない (補聴器: 有 無)			

服用している薬

お薬手帳のコピー

収集する防災情報の確認

知っているに↗

<input type="checkbox"/> キキクル(気象庁)	<input type="checkbox"/> 雨量の動き(気象庁)	<input type="checkbox"/> 今後の雨
リアルタイムで危険度を確認 高精度な0時間先までの雨の予測 6時間先までの雨の予測 気象庁キキクル 気象庁キキクル		
<input type="checkbox"/> 気象庁キキクル 気象庁キキクル	<input type="checkbox"/> 気象庁雨雲の動き 気象庁雨雲	<input type="checkbox"/> 気象庁今後の雨 気象庁今後の雨

あなたの避難場所（避難する場合）

感染症時の分散避難先			
住所	連絡先	直前に準備するもの	
公共 神戸小学校	民間 ZENグローバルアカデミー	民間 中四国クボタ西条営業所	薬・お薬手帳
" 神戸公民館	" 伊曾乃神社	" あおのクリニック	眼鏡・コンタクト
" 神戸公園	" 保国寺	資機材 高橋石油ガス	携帯電話・スマホ
民間 西条ゴルフ俱楽部	" 橘新宮神社	" 工藤グリーンテック	充電器・バッテリー

非常持ち出し袋(1日分)内容及びチェック表

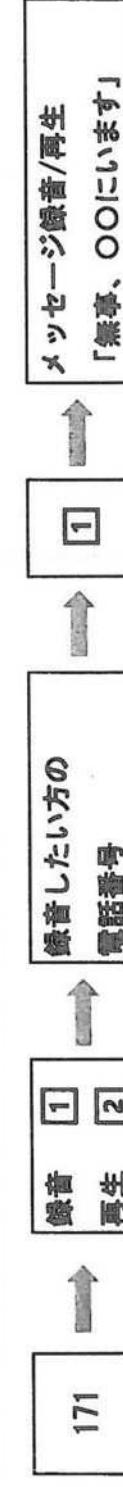
作成日	年	月	日	□ 準備できている	直前に準備するもの
日頃から準備しておくもの					
食料(缶詰、菓子等)	水(500ml~1,5L)	マスク	通帳		薬・お薬手帳
除菌ウェットティッシュ、ペーパー	歯ブラシ	使い捨てカイロ	免許証		眼鏡・コンタクト
防災笛	LEDライト(電池)	携帯ラジオ	健康保険証		携帯電話・スマホ
予備眼鏡・コンタクト	現金(最低限)	簡易トイレ・おむつ	貴重品		充電器・バッテリー
常備薬	アルミブランケット	ペン・メモ帳	印鑑		入れ歯・補聴器
無事ですカード	タオル	靴	財布		着替え・防寒着

災害用伝言ダイヤル(安否確認)

連絡を取り合う番号を合意している

使い方を知っている、理解できた

災害時に安否確認・居場所確認など緊急の伝言ができます。





西条市土砂災害ハザードマップ

保存版
（PDF）

この土砂災害ハザードマップは、西条市の南側に位置する豊かな山々で大雨が降ることにより土砂災害が発生するリスクや、同様の雨が降った場合の加茂川や中山川などの河川氾濫の範囲を示した地図です。

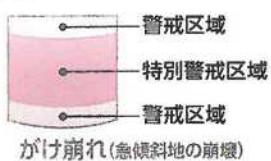
このマップで示した土砂災害警戒区域以外でも災害は発生する可能性があります。

土砂災害

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

建物が壊れて命や体に危険が生じるおそれのある区域

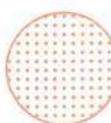
愛媛県、令和3年12月7日告示分まで



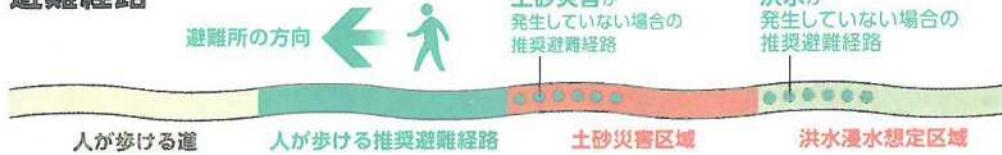
災害実績

過去の災害が発生した場所

(平成16年台風災害)



避難経路



※山間部を通過する避難経路は、民家がないため警戒区域の指定がされていませんが
土砂災害の危険性はあるため、通行時には注意が必要となります。



緊急避難場所



避難所

※(福祉)は福祉避難所機能も有します。



警察



消防



救急指定病院



アンダーパス



ライブカメラ



水位観測所



雨量観測所



水防倉庫



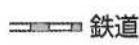
消防団詰所



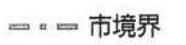
市役所



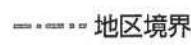
総合支所



鉄道



市境界



地区境界

水位周知河川の浸水想定区域

加茂川・愛媛県、平成28年5月13日公表
中山川・愛媛県、平成28年5月13日公表
渦井川・愛媛県、令和2年6月5日公表

地形



河川・池・海



河川敷

西条市ホームページで公開しているハザードマップ



洪水
ハザード
マップ



マップ



ため池
ハザード
マップ



マップ

西条市防災専用電話

※災害対策本部等へつながります

(西条地区)

0897-52-1400

緊急避難場所兼避難所

(東予・丹原・小松地区)

0898-68-1400

緊急避難場所：災害から一時的、緊急的に避難する場所
避難所：被災者等を必要な期間滞在させるための施設

神戸

30

神戸公民館

31

神戸小学校

中野甲566-4

洲之内甲200

神戸

32

神戸公園

中野甲1799



緊急避難場所：災害から一時的、緊急的に避難する場所

